

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	清内路 山のコンサート ～おおまきの下に集まろう～
事業主体 (連絡先)	清内路 山のコンサート実行委員会 (事務局) 原 京子 0265-46-2731
事業区分	地域間交流、自然・環境・平和
事業タイプ	ソフト
総事業費	719,000円 (うち支援金: 476,000円)

事業内容

- 「おおまきコカリナ」が誕生した地で、県内・県外の多くのグループに出演を呼びかけコンサートを開催。(雨天の為、清内路小学校体育館で実施)
- 阿智村との合併後の開催の為、清内路地域以外にも広く広報。また、実行委員は清内路の住民だけでなく、飯田・箕輪・浜松など広範囲の他地域からも参加。
- コカリナ奏者・黒坂黒太郎氏から譲り受けたヒロシマの「被爆樹ヤナギ」のテーマソングを黒坂氏に作っていただき、コンサートの中で子ども達が「被爆樹コカリナ」の演奏。
- 広島から、被爆者原廣司さんにお越し頂き、コンサートの中でお話を伺う。



【会場の皆さんと一緒に合唱】

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

- 雨天の為、「おおまき」での開催は出来なかったが、地元のグリーンツーリズムガイド『夢先案内人』の案内で「おおまき」を見学した事により、「おおまき」の存在と自然の大切さなど樹からのメッセージが伝わった。
- 広島から被爆者の原廣司さんがきてくださり、ご自分の体験を通して話しして下さったことと、原さんの原詩を元に作った曲を、清内路の子どもたちが「被爆樹コカリナ」で演奏した事により、参加者の方々から平和について自分事として捉えてくださったとお言葉をいただき、個々が平和について考えていくきっかけ作りの場になった。
- 自分たちがやりたい事を、自分たちの力で形にしていくという実行委員会作りの楽しさを、このコンサートを開催した事により関わった方々が感じる事ができた。
- 清内路の住民グループと連携する事により、地域の伝統食や観光を他地域の方々にPRする事ができた。

【目標・ねらい】

- 参加人数150人以上
- 住民グループとの連携
- 他地域との交流
- 樹からのメッセージの発信

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

- このコンサートをとおして感じた地域の宝、「おおまき」の大切さ、自然の大切さそして平和の大切さを後世の子どもたちに伝えて行ける様に、地域の住民グループの方々等と連携し、阿智村清内路から全国、世界に向けて発信していく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70～89%「C」50～69%「D」49%以下で示すこと。